

八幡平市教育委員会会議録

令和2年11月16日（月）

八幡平市教育委員会

令和2年11月八幡平市教育委員会定例会会議録

1. 開催日時

令和2年11月16日（月）午後3時00分から午後3時55分

2. 場所

八幡平市役所本庁舎3階 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子
委 員	伊 藤	政 行
委 員	羽 沢	憲 英

4. 欠席者

なし

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	照 井 英 輝
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

6. 傍聴者

なし

7. 教育長あいさつ要旨

10月定例会後の主な行事等について報告

- 1) 10月28日（水）令和2年度盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員等研修会 東京工業大学の赤堀先生の話で、日本の子供はパソコンを遊びには使うが、学習には使っていないという指摘が印象に残っている。学習に使えるような、一人一台の使い方にしていければと思う。
- 2) 10月29日（木）第19回岩手地区中学校総合文化祭 松尾中、西根中の吹奏楽部がマリオスで発表した。とてもすばらしい発表だったと伺っている。
・岩手県市町村教育委員会協議会令和2年度教育長部会 GIGA スクール関係、各市町の様々な取り組みについて情報交換した。

- 3) 10月30日(金) 令和2年度第2回県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換 コロナ対応、GIGAスクールへの取り組み等々について、各市町村が抱えるいろいろな問題や悩みなど出し合いながら情報交換を行った。GIGAスクールについては、一人一台のタブレットが今年だけで900万台必要になるそうだが、一気には無理だろうということで、各市町村ともどこからスタートできるのか、悩みを抱えているようである。
- 4) 11月3日(火) 令和2年度八幡平市市民憲章推進大会江間章子賞授与式
今年も1,500編近い応募があり、素晴らしい作品が多く集まったと思う。八幡平市以外の市町村からの応募が多くあったが、上位入賞は八幡平市が多く、市内生徒の作品の質の高さを改めて感じた。
- 5) 11月4日(水) 八幡平市議会第2回臨時会
- 6) 11月5日(木) 令和2年度第3回管内市町教育委員会教育長会議並びに第2回管内市町教育委員会学校教育担当課長会議
・令和2年度第2回管内公立小・中学校校長会議 今年度の人事異動方針等の説明があり、人事が動き始めたところである。
- 7) 11月6日(金) 令和2年度盛岡教育事務所・岩手地区市町教育委員会教育長及び岩手地区校長会教育懇談会 校長会からの様々な要望を受け取った。その中で八幡平市については、非常に手厚い支援員配置等があつて、各学校大変ありがたいという話があつた。
- 8) 11月13日(金) 学校と地域の連携・協働体制に関する情報交換 文部科学省から2名、東北地区のコミュニティ・スクールマイスター3名が八幡平市に来て、八幡平市のコミュニティ・スクールの状況について教えてほしいということであつた。本市では、県内で初めて公認のコミュニティ・スクールアドバイザーを設けて、藤嶋先生に動いてもらっているわけだが、導入の経緯であるとか、今年度全校がコミュニティ・スクールを導入したので、その成果や課題について情報交換した。

12月の主な行事について報告

- 1) 11月19日(木) 安比高原スキー場安全祈願祭
令和2年度県北教育事務所管内社会教育担当研修会
- 2) 11月20日(金) 学校長面談
- 3) 11月24日(火) 市議会議員全員協議会
第2回教育支援委員会
- 4) 11月25日(水) 平笠小学校訪問及び第7回小・中学校校長会議
- 5) 11月30日(月) 八幡平市議会第3回臨時会
学校警察生徒指導連絡協議会指導部員研修会
- 6) 12月1日(火) 第2回八幡平市コミュニティ・スクール推進協議会(研修会)
- 7) 12月2日(水) 第10回大更駅前顔づくり施設検討会議
第2回教育研究所運営委員会

- 8) 12月4日(水) 八幡平市議会第4回定例会(～14日まで)
- 9) 12月10日(木) 防災教育重点部会
- 10) 12月15日(火) 第8回小・中学校校長会議
- 11) 12月16日(水) 学校給食センター調理等業務委託に関する選考委員会
- 12) 12月18日(金) 盛岡教育事務所の学校長ヒアリング
- 13) 12月23日(水) 教育委員会12月定例会

8. 報告事項の要旨

(教育総務課)

10月28日の教育民生常任委員会視察では、大更小学校パソコン教室内でプログラミング教育をやっていて、ヤフーキッズというのをインストールしているのですが、それを使ってこの日は算数の公倍数を学ぶのを見ていただいた。

11月4日臨時議会での大きい案件は、一人一台パソコンと繁殖育成センター(キャトルセンター)の建設工事の請負契約、財産の取得に関し議決を求めるのは、教育用の一人一台パソコンの導入にかかる案件と、一般会計補正予算ということで3つの議案が全て原案どおり可決された。キャトルセンターは大きい建設工事で17億ほどである。GIGAスクールもいよいよ議決を得て、これから順次進めていく。今回議決いただいた内容は、取得する財産と数量は、児童生徒用のタブレット型端末が1,484台と、新たに購入する教師用のタブレット型端末。教師用は基本的に去年購入した129台の端末を使用するという方針なので再設定をして使用し、そのほかに7台ほど不足するので1,484台と教師用7台あわせて1,491台を1億5,367万円で、契約の相手方はテクノ株式会社となる。これまでもパソコン関係の保守契約されている業者である。指名競争入札で落札してこの業者に決まり、納入期限は今年度末3月31日までの契約内容で導入に向けて進めていくことになっている。2種類のソフトを入れて配置をすることで、グループでの意見交換や教材の共有できる学習支援ソフト。ドリル、プリント教材などを備えている授業支援ソフトそういったものを2種類インストールする。有害サイトを遮断するフィルター、ウイルス対策ソフト、これらを網羅した形で導入するのが先ほどの金額となっている。

(教育指導課)

学校公開の様子と前回の定例会以降の学校訪問の様子、小学校の修学旅行について報告させていただく。松野小学校の学校公開には、お忙しい中ご参観いただきありがとうございます。県内より約100名の先生方・ご来賓の参加をいただき、また、文部科学省の大塚教科調査官にも予定通りご来校いただき実施することができた。「読みを深め、自分の考えを形成する国語科指導の在り方」という研究主題で、新学習指導要領の国語科において求められている「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して正確に理解し表現する資質・能力を育成する」ための指導の在り方について学校公開を行った。ご覧いただいた通り子どもたちは、理解した内容に既存の体験等を結び付けながら考

えを作り、他の児童との交流を通して比較・検討し、自分の考えを練り上げてまとめ、考えを論理的に表現していた。小学校の子どもでもここまで表現できるものなのだと大変感心した。「主体的に深く考え」そして「粘り強く」学習に向かう子どもたちの姿から、松野小学校の今までの研究の成果が大いに表れていると感じた。

学校訪問について、前回の定例会以降訪問した学校は安代中、平笠小、寺田小、寄木小、安代小、田山小の6校である。安代中学校では、中学生らしく、落ち着いて真剣に学ぶ様子、体育のバスケットボールの授業では躍動的な姿を見ることができた。3年生の道徳の授業では、自己開示ができている学級の良好な人間関係の中で、飾ることなく自分の言葉で書いたり発表したりする様子を見ることができた。5つの小学校の外国語の授業では、ALTの先生がいない学級担任だけによる外国語の指導を見ることができ、クラスルームイングリッシュを積極的に使い、子どもたちと楽しく授業を行っている様子を拝見した。特に、田山小学校6年生の外国語の授業のレベルの高さには大変感心した。自分が将来なりたい職業について、児童自身が英語でクイズを出し、英語で質問したりヒントを与えるなど、一人一人の語彙力の多さと表現力の豊かさにびっくりした。小学校の道徳の授業においては、自分の生活体験の中から本時の課題を設定し、より「自分事」として捉えられるように工夫している授業や、児童の意見や考えの違いを見える化し、多面的・多角的な思考を促している授業、一人一人の評価のために継続的に使える「振り返りカード」を制作している学校もあった。今回参観した5つの小学校では、道徳の教材研究をしっかり行い、新学習指導要領が求めている道徳の授業を実現するために、先生方が努力されている事を強く感じる事ができた。また、寺田小学校では、全ての学年の授業において電子黒板などのICT機器が使用されて、道徳と外国語の授業が行われ、教育効果を高めるように努めていたことも報告させていただく。明日の平舘小学校、18日の柏台小学校の訪問を残しているが、今回の学校訪問では、どの学校においても1回目の訪問に比べ、担任の先生と子どもたちの信頼関係がより深まっており、子どもたちが成長している様子が見られたことが何よりだった。今後も、より良い道徳や外国語の授業を目指して努力している各学校の先生方を、支援していきたいと考えている。

次に、小学校の修学旅行の報告について、各小学校ではこの2学期に運動会と学習発表会という大きな行事を行いながら、6年生の修学旅行を実施してきた。本日までに8校が無事旅行を終えており、今週19日・20日に寺田小、安代小学校が実施する予定である。コロナの影響で、従来の仙台・松島方面や北海道への修学旅行先を変更し、9校が岩手県内、平舘小学校が青森県で実施した。各学校では、旅行の実施時期や旅行先の度重なる検討や、保護者への説明会等、大変苦勞したことを聞いている。また、逆に「岩手県内にもこんなにいい所があった」という地元の魅力を再確認する機会となり、「やってよかった」という話をいただいている。

先週から、盛岡を中心にコロナの感染拡大が大変懸念されている状況である

が、あと2校の子ども・先生方が無事に修学旅行を終えることを願っている。

9. 報告事項についての質疑

○高橋委員

タブレットを外で使っている小学校がテレビに映っていて、手持ちのケースに入っていて、走りながらも使えるというのですが、市のものはケースはあるのですか。室内だけで使うのですか。

○工藤教育総務課長

持ち帰りは想定していますが、ケースの付属について今回は揃えていません。いろいろなタイプがあると思いますが、今回は十分丈夫なので、ケースがなくても大丈夫かなと思います。

○星教育長

今後、様々な安価でそういったものが出回ると思います。

○伊藤委員

普通に考えればパソコンなんかはデスクワークなので、体育の授業というのは想定していないと思いますが、このままコロナが続けばそういうのも必要になってくる状況だと思います。

○星教育長

その他よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

10. 付議事件

○星教育長

議案第1号「八幡平市教育委員会教育長職務代理者の選任について」事務局からお願いします。

○工藤教育総務課長

議案第1号「八幡平市教育委員会教育長職務代理者の選任について」でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、教育長職務代理者の選任を求めるものでございます。

○星教育長

はい、議案第1号について説明がありました。指名ということで教育長職務

代理者は宮野朋士委員さんをお願いしたいと思いますが、質疑意見等ありますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○星教育長

それでは質疑を終結致します。お諮り致します。議案第1号 八幡平市教育委員会教育長職務代理者の選任について、指名のとおり決することでご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、議案第1号は原案のとおり可決されました。
続きまして、議案第2号「議席の指定について」事務局からお願いします。

○工藤教育総務課長

議案第2号「議席の指定について」でございます。八幡平市教育委員会会議規則第4条に基づき教育長が委員の議席を指定するというので参考に抜粋して別紙をお配りしております。

○星教育長

議案第2号について説明がありました。私の方から指名いたします。職務代理者であります宮野朋士委員、次に高橋優子委員、次に伊藤政行委員、次に羽沢憲英委員の順に指定したいと思います。質疑意見等ありますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、議案第2号は指名のとおり可決されました。
続きまして、議案第3号「八幡平市立学校給食センター運営委員会委員の任命に関し議決を求めることについて」事務局からお願いします。

○工藤教育総務課長

議案第3号「八幡平市立学校給食センター運営委員会委員の任命に関し議決を求めることについて」でございます。

(資料に基づき説明)

○星教育長

議案第3号について説明がありました。ただいまの説明にご質問等ありましたらご発言をお願いします。

(「なし」の声あり)

○星教育長

それでは質疑を終結致します。お諮り致します。議案第3号「八幡平市立学校給食センター運営委員会委員の任命に関し議決を求めることについて」原案のとおり決することでご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、議案第3号は原案のとおり可決されました。

11. その他

○星教育長

事務局から何かありますか。

○工藤教育総務課長

令和3年度の県教員の人事異動要領をお配りしております。

(資料に基づき説明)

○星教育長

ただいまの説明にご質問等ありますか。

(「なし」の声あり)

○星教育長

委員のみなさんから何かありますか。

○宮野委員

松野小学校の学校公開を見させていただいて、よくよく今の子どもたちは賢いんだなと感じました。先生方の指導もあって、私たちの時と比べて子供たちの賢さが全然違う気がします。13日は平舘小学校の方で、防災マップの発表会がありました。5・6年生の発表で、一緒にまち歩きに同行したのですが、一緒に歩いているときの子どもたちが、小学生がこんな言葉を使って、こういうふう発表す

る力があるんだということを強く感じました。校長先生に、特別に発表のために何かしているのですかと伺ったところ、特にそういったことはございませんと。子供たちが自分たちでマップを作って、発表の内容も自分たちで考えましたという話でしたので、とてもありがたい環境づくりをしていただいていると思いました。発表会の後、コミュニティ・スクールの委員会があり、その中でも子供たちすごいねという話が出たのですが、片方では4月・5月は子供たちすごい元気な声であいさつが返ってきたのですが、今はあまりいいあいさつが返ってこないねという話になり、学校が頑張っても家の中で果たして親子の中のあいさつとか、近い人たちとあいさつできているのか、もしかして大人の態度が子どもたちに悪い影響を与えているのではないかという話が出ました。

今の人事異動の方針の中にも、社会教育家庭教育の充実の推進ということがございましたが、学校現場で頑張っていただいていることを受けて、コミュニティ・スクールの仕組みを使って発表したり、教育振興運動に基づいて、今後さらに一層力をいれていって、社会教育・生涯学習というものを、また一つの重点として捉えていただければありがたいということを、教育長にお願いしたいなと思います。よろしくをお願いします。

○星教育長

承りました。今子供たちの発表力・表現力の素晴らしさというのが話にありましたが、私も本当にそう思いました。ここまで話せるということは、つまり友達や先生に、自分の考えを話したい何かが中に生まれるから、伝えずにはいられないそういうところまで授業の中で、あるいはマップ作りの中で表現したい思いを一緒に育ててくださったのだらうと思います。その表現したいという思いは、教師だけでできるものではなく、コミュニティ・スクールの地域のみなさん、宮野委員さんをはじめみなさんのいろんな思いが、そういったところで積み重なって子どもたちの意識の高まりになっていったのではと、こちらとしては捉えております。

今後、そのあいさつのことも含めて、まだまだ子供たち力をつければ、伸びていく伸びしろがあるので、更に伸ばしていけるのではと思っております。学校公開等、委員さんにご出席いただいております。ありがとうございます。

その他何かありますか。

○地域振興課東本課長補佐

聖火リレーについてなどお知らせが2点あります。来年度の東京オリンピック聖火リレーについてと、東京多摩交響楽団ふれあいコンサートの情報提供と報告をしたいと思っております。聖火リレーなのですが、昨日からI O Cのバッハ会長が日本に来ていて、午前中に菅総理大臣とミーティングをしたと思うのですが、予定通り東京オリンピックは7月23日金曜日の開会式で進んでおります。それに伴いまして、今年の3月に福島の方で聖火リレーのスタートをできませんでした

が、それが予定通り行われることで進んでおります。岩手県に関しては6月16日から18日の3日間で、八幡平市は6月16日水曜日です。昨年、予定していた焼走り溶岩流展望台から、岩手山銀河ステーション天文台までの1.3キロという少ないルートですが行う予定です。その事につきまして、昨年の段階ではなるべく児童生徒全員にお見せして、一生に一度ということを進めておりましたが、今回に関しまして、そうしたいところなのですが、コロナウイルス感染症のことで、県の実行委員会から組織委員会に照会しているのですが、それについての回答はまだ来ていません。一部の人になるかと思いますが、なるべく参加させてもらいたいなと思っております。ただ、感染症対策をどうするのかとか、その辺のところガイドラインに示されておりませんので、非常に答えに苦慮していますが、取り組んでいきたいと思っております。昨年とメンバーは変わらず、西根中を卒業した方と、小林陵侑選手でいきたいと思っております。ほかの永井選手とか潤志郎選手につきましては、岩手県の方の盛岡でやる聖火リレーとか、県内のどこかのコースでトーチを持ってリレーランナーとして出場することは把握しております。今月25日に校長会がありますので、そこである程度の情報共有とご理解をいただきたいと思っております。聖火リレーについては以上です。

次ですが、先週東京多摩交響楽団の団長がお見えになって、市長面談ということで、ふれあいコンサートを八幡平市で是非開催してほしいという話がありました。九戸、軽米、一戸、葛巻で複数回公演されていたそうなのですが、コロナウイルス感染症の影響で公演中止になり、今まで八幡平市に来て上演したことがないという事がありまして、何とか学校行事として取り扱って市内の児童生徒全員に鑑賞してもらいたいという話でした。市長は文化芸術に造詣が深いので了解していましたが、大人数の児童生徒の輸送手段と、それに見合うような会場があるのかということなのですが、なんとか5・6年生や、中学生とかクラシックが段々わかるような世代が行けるように、当初予算もありますので考えているところです。できれば、生徒に楽器など体験してもらいたいのですが、コロナで非常に微妙なところもあるのですが、今そのような話が出ておりますので、これについてどう対応していくのかという話が出されております。できれば、どちらも両立してできるようにしていきたいと思っておりますので、引き続き委員のみなさまにはご理解とご協力のほどよろしく申し上げます。

○星教育長

ご説明ありがとうございました。今の2件の説明について質問がありましたらお願いします。

○伊藤委員

実施するとすればいつごろですか。

○地域振興課東本課長補佐

聖火リレーの後6月下旬、2部構成で考えておりました。市総合運動公園体育

館を考えておりました。

○星教育長

1部は児童生徒、2部は一般ということでしたでしょうか。

○地域振興課東本課長補佐

そうです。1部は児童生徒、2部は市民、芸文協、コーラス団体というところ
です。

○星教育長

東京多摩交響楽団の指揮者は、新田さんという釜石市出身の方であります。

○星教育長

委員のみなさまから何かありましたらお願いします。

(「なし」の声あり)

○星教育長

特に無いようですので、これを持ちまして八幡平市教育委員会定例会は閉じさ
せて頂きます。ありがとうございました。